

まつぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

成長できる場

今日の私は寝不足です。午前1:55に起きて、サッカーのワールドカップ、日本 VS ブラジル戦を観戦したからです。正直私は期待半分だったのですが、先制点を取りしかもあのブラジルをあそこまで追い詰めた試合はすばらしかったです。延長戦や PK 戦までもつれそうだったのですが、そこまでは行きませんでした。やはりサッカー王国のブラジルです。しかし、私の学生時代の日本サッカーと比較すると今のレベルはものすごく向上したと思います。間違いありません。Jリーグが発足し、確実に日本のサッカーのレベルは上がってきました。今回の経験を通して、日本サッカー界はさらに成長していくことでしょう。

今回、この日本サッカーから学ぶことはたくさんありました。全力を尽くすこと、日々向上心を持って努力すること、試合に出ていなくても皆をベンチから支えること、選手の怪我も想定しておくこと、監督を中心に全員がまとまること等々です。これは学校運営にも同じことが言えます。私も三角小学校の一職員として子どもはもちろん学校に関わるすべての人が、つながり協力し合い安心安全で子どもたちが「成長できる場」に積極的にしていかなければなりません。森保監督のようには行きませんが……。でも背伸びせず楽しみながらがんばっていかうと思います。

6月30日の昼休み ドッジボールで楽しむ子どもと先生

今一度！

すべての学校において、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて、毎年人権学習を行っています。しかし、すべての差別の解消に至っていないのは事実だと思います。なぜなのでしょう。難しい問題だと思います。「相手の立場に立って物事を考える思いやり」これは私が担任をしていた頃、毎年学級の子どもたちに伝えていた言葉です。言葉で「相手の立場に立つ」と簡単に言えますが、これがなかなか難しいことです。相手の心の中を目で見ることはできませんから。59年も生きてきた私でも相手の立場に立てずに発言したり行動したりしてしまうことがあります。だから常に反省です。「どうしてあんな行動をとってしまったのだろう」「どうしてあんなことを言ってしまったのだろう」半世紀以上、反省の連続です。だから、学習の継続、考え悩むことの継続は大切だと思います。



勉強ができる子・苦手な子、スポーツが得意な子・苦手な子、人前でどんどんしゃべる子・なかなか発言できない子、いろいろな子どもがいます。それが当たり前です。みんなが同じ顔で、同じ身長体重で、同じ考え方で、同じ能力であつたらそれは不自然です。みんな違って当たり前、違うからいろいろなことができるし学べるし、おもしろいのです。ハンセン病問題・水俣病問題・外国人差別問題など、いろいろな差別や偏見を無くしていくことを、全員が目指して日々過ごしていくことが必要です。私も校長である前に一人の人間として今一度、差別の解消を肝に銘じ差別やいじめの不合理さを考えていきたいと思っています。

勉強ができる子・苦手な子、スポーツが得意な子・苦手な子、人前でどんどんしゃべる子・なかなか発言できない子、いろいろな子どもがいます。それが当たり前です。みんなが同じ顔で、同じ身長体重で、同じ考え方で、同じ能力であつたらそれは不自然です。みんな違って当たり前、違うからいろいろなことができるし学べるし、おもしろいのです。ハンセン病問題・水俣病問題・外国人差別問題など、いろいろな差別や偏見を無くしていくことを、全員が目指して日々過ごしていくことが必要です。私も校長である前に一人の人間として今一度、差別の解消を肝に銘じ差別やいじめの不合理さを考えていきたいと思っています。